

令和4年度認知症初期集中支援チーム 活動状況

1 会議

- (1) 認知症初期集中支援推進会議（令和4年11月21日） ※書面会議
 - ・認知症初期集中支援チーム事業計画、認知症初期集中支援推進事業体制について
- (2) 認知症初期集中支援チーム員会議 ※書面会議
 - ・令和4年11月21日 ケース検討 2件（新規1、継続1）

2 研修

- (1) 認知症初期集中支援チーム員研修（Zoom）
 - ・日程：令和5年1月14日 1名（原町東地域包括支援センター）

3 普及啓発活動

- (1) 認知症初期集中支援チームリーフレット配布及び相談窓口の説明
- (2) 認知症ケアパス配布
 - 〈配布先〉 市内の医療機関や薬局等
 - 認知症サポーター養成講座（出前講座）
 - 各地域包括支援センターの相談支援活動や家族介護教室等
 - 認知症に関する健康教育（地域サロンや地域包括支援センターの出前講座等）

4 認知症初期集中支援チームについて

- (1) 現状と課題
 - ・地域包括支援センターの総合相談として対応している場合があり、認知症初期集中支援チームの相談件数が少ない状況である。
 - ・異動や退職等によりチーム員の減少がみられる。
法人内の異動や退職に伴い、チーム員の人数が減少している。認知症初期集中支援チームが活動できるためにも一定数の人員の確保が必要なため、毎年度チーム員研修の受講が必要である。
- (2) 今後の取り組み
 - ・対応件数を増やししながら、認知症初期集中支援事業の評価を行い、事業の利活用を推進する。
 - ・個別での事例を他のチーム員とも共有し、チーム員のアセスメント力・対応力の向上を図っていく。

- ・相談窓口の周知徹底を図り、また関係機関との横のつながりを強化することで対象者の早期把握につなげる。

参 考

○地域包括支援センターにおける認知症相談人数

	R 3年度	R 2年度	R 1年度
実数	5 3 6	5 4 8	6 3 3
延べ人数	2, 0 4 6	2, 0 4 9	2, 1 9 8

○認知症初期集中支援チーム事業概要

- ・認知症初期集中支援チームとは…

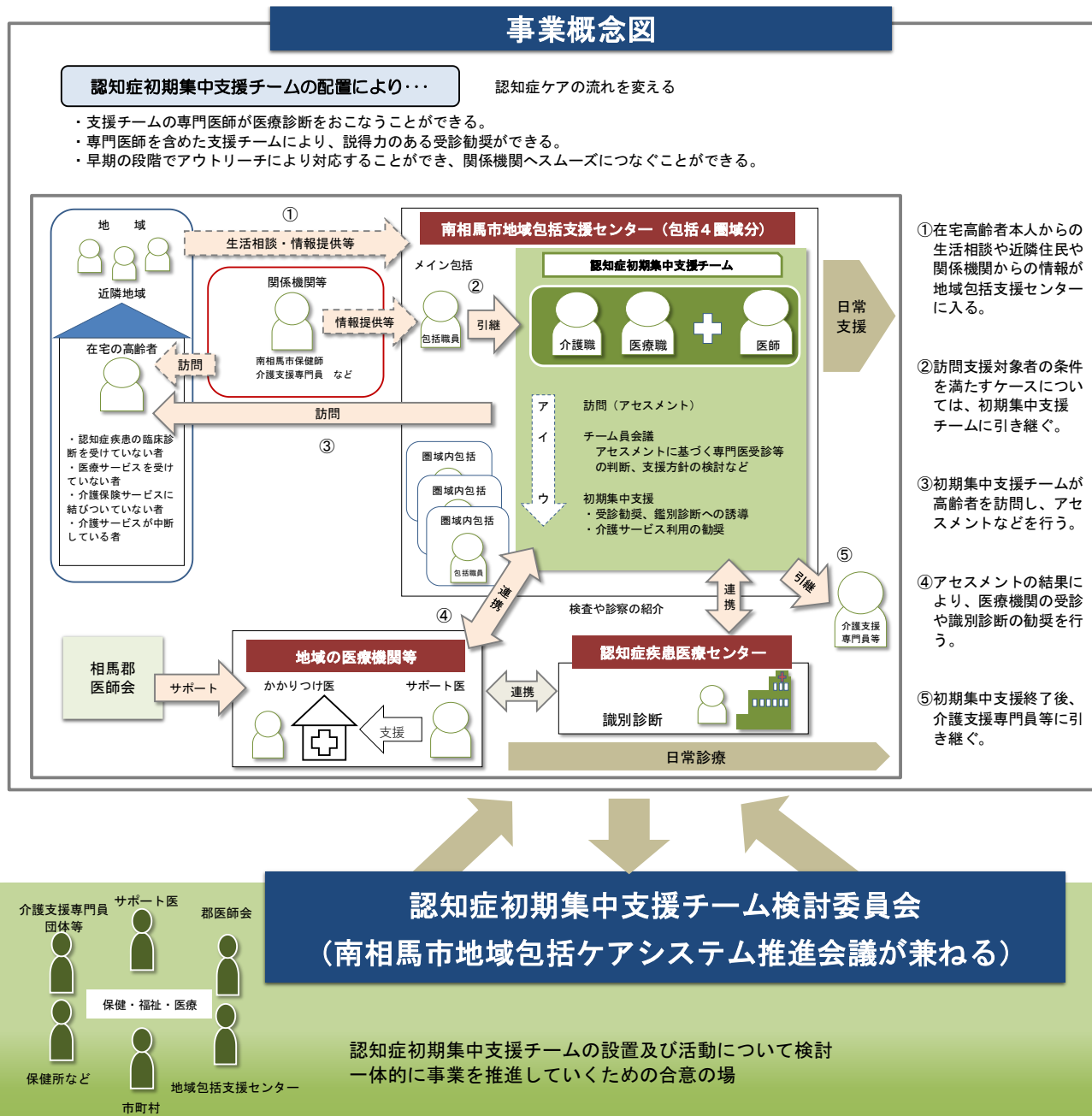
認知症専門医と、専門知識を持つ医療職・介護福祉職で構成されたチーム員が、家庭訪問し、相談を行いながら、生活の中での困りごとに対する支援を集中的に行う。

※「初期」とは疾患の初期段階という意味ではなく、「初動 (first touch)」を意味しており、「集中」は認知症の人やその家族を訪問し、アセスメント、家族支援等を包括的・集中的（概ね6か月）に行うこと。

- ・対象者…市内に住む40歳以上の方で、認知症の症状等で困っている方

認知症の診断を受けたいが、受診につながらない
 認知症の治療を中断している
 適切な介護サービスを利用できていない
 サービスの利用や介護に困っている

○認知症初期集中支援チーム事業概要



南相馬市高齢者総合計画より抜粋